

無料ゾーンが拡大！本館2階の中央
パティオを囲む回廊がインフォーマー
ション・ゾーンとして3月15日に生ま
れ変わりました。「学習コーナー」は
「探究ひろば」に変わり、みんぱくの
研究活動や展示をよりよく知ることが
できるようになりました。ヨーロッパ
展示もパンを紹介するコーナーなども
つけ、リニューアルしました。新しい
みんぱくをぜひ体感してください。

特別展

『今和次郎 採集講義——考現学の今』
今和次郎が関東大震災後に始めた考現学は、
世相を野外観察、記録して庶民の生活文化の
変化をとらえる学問で、民族学とよく似てい
ます。この特別展は、工学院大学図書館所蔵
の今和次郎コレクションに基づいて青森県立
美術館とバナソニック・汐留ミュージアムで
開催された展示に加え、新しい手法も取り入
れたみんぱくの考現学的な資料や研究を紹介
し、モノと生活文化の関わりを考えます。
会期 4月26日(木)～6月19日(火)



銀座のカフェー服装採集1
(今和次郎・吉田謙吉、1926年)
工学院大学図書館所蔵

◆関連イベント
「みんぱくで考現学的パワースポットを
探そう」
日時 5月6日(日) 10時30分～12時
(受付10時開始)
場所 ナビひろばほか
※参加無料、申込不要
※小学2年生以下は保護者同伴で参加可能。
お問い合わせ先
情報企画課 展示グループ
電話 06・6878・8532

◆みんぱくセミナー
左のページをご覧ください。

◆みんぱくウィークエンド・サロン
特別展開催中は特別展開連のお話をお届け
します。詳細は本誌24ページをご覧ください。
その他イベントが続きます。お楽しみに！
みんぱく春の遠足・校外学習 事前見学&
ガイダンス
実施日 4月3日(火) 4月5日(木)
4月6日(金)
時間 14時～17時
場所 第5セミナー室ほか
参加申込方法
みんぱくホームページから参加申込書をタウ
ンロードし、必要事項を記入の上、FAXに
てお申し込みください。
お問い合わせ先
広報企画室 広報係
電話 06・6878・8560

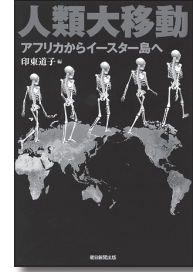
◆みんぱく映画会/みんぱくワールドシネマ
「僕たちは世界を変えることができない」
But, we wanna build a school in Cambodia.
日時 5月12日(土) 13時30分～16時30分
(開場13時)
場所 講堂(先着450名)
※参加無料、申込不要
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布

●みんぱくミュージアムパートナーズ(MMP)
新規メンバー募集
みんぱくミュージアムパートナーズは、みん
ぱくとのコラボレーションのもと、博物館活
動のサポートのために自主的な企画運営を行
う市民パートナーです。現在、9月から活動
する新しい仲間を募集中です。
応募期間 5月10日(木)まで(先着50名)
お問い合わせ先
みんぱくミュージアムパートナーズ事務局
新規募集係(国立民族学博物館 社会連携室内)
E-mail mmp-jimukyoku@idc.
rinpaku.ac.jp
FAX 06・6878・8256

●無料観覧日のお知らせ
5月5日(土・祝)のごどもの日、特別展
本館展示を無料で観覧いただけます。ただし
自然文化園(有料区域)を通行される場合
は、入園料が必要です。
*電話でのお問い合わせの受付時間は9時から
17時(土日祝を除く)です。

刊行物紹介

■印東道子 編著
『人類大移動
——アフリカからイースター島へ』
朝日新聞出版 定価：1,470円



アフリカで誕生した人
類は、どのように地球
全体に広がったのか？
異なる集団との出会
いは？考古学や遺伝学、
霊長類学などさまざま
な分野の研究者が、最
新の研究成果を使って
平易に紹介した本です。

■『国立民族学博物館 展示ガイド』
国立民族学博物館 定価：1,200円



みんぱくの展示ガイド
が新しくなりました。各
展示場がそれぞれ6
ページずつの冊子にま
とめられています。今後
の展示の更新にあわせ
て内容を追加・差し替
えてゆくことができる
B5のバインダー形式
です。関連する月刊み
んぱくの記事をとじるなど
使い方はあなた次第！

■『民博通信』2011 No.135(12月発行)
評論・展望
東日本大震災における
被災文化財の救援の現場から
——有形民俗文化財の支援を中心に
日高真吾

みんぱく出版物入手方法については広報係にお問
合わせください。 電話 06・6878・8560

みんぱくホームページ <http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第407回 4月21日(土)
サハリンのキムチ

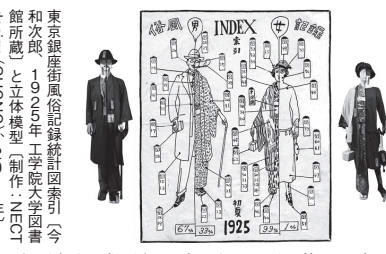


家庭でキムチを作る
サハリン韓人

かつて樺太とよれたサハ
リンには数万人の朝鮮半
島出身者がいます。彼ら
はどうしてサハリンに渡っ
たのでしょうか。そしてど
のように暮らしているの
でしょうか。彼らの民族食
であるキムチを通して、そ
の歴史と生活についてお話
します。

第408回 5月19日(土)
特別展開連

今和次郎 採集講義と日常生活文化研究の現在
講師 萩原正三(工学院大学 名誉教授)、佐藤浩司
(国立民族学博物館 准教授)、黒石いずみ(青山学院
大学 教授)、横川公子(武庫川女子大学 教授)



東京銀座街風俗統計図索引(今
和次郎、1925年)工学院大学図書
館所蔵 立休模型(制作:NET
design (OHONO), 2011年)

特別展に展示されている
今和次郎のスケッチは、大
正・昭和期の人々の普段の
暮らしを生き生きと伝え
ます。また、その日常生活
の細かな観察を記録し新
たな視点で魅力や問題を
探る方法には誰もが目を
開かれます。今和次郎
が民家研究や考現学で追
求した事柄はいったい何
だったのか、それが現代に
どのような意味を持つのか
を解き明かします。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)
第407回 5月5日(土) 14時～15時
特別展開連
考現学と民族学
講師 久保正敏(国立民族学博物館 教授)
生活文化の変化を捉えるために「現在」を徹底的に観
察・記録する考現学は、民族学と極めて近い学問です。
梅棹忠夫も考現学の手法に大いに刺激を受けているほ
か、現在の民博の研究者にもその精神は受け継がれて
います。今和次郎の編み出した手法の極意とその後の
展開を紹介します。

第408回 6月2日(土) 14時～15時
特別展開連
タイムカプセルとしての民家模型
講師 久保正敏(国立民族学博物館 教授)
映像では、モノでは表現することのできない人びとの生
活の雰囲気を描き出し、祭りや儀礼などを一連の流れの
なかで伝えることができます。制作中のペー族のマルチ
メディア番組「雲南省のペー族の暮らしと文化」の映像
を用いて、彼らの生活を紹介します。番組制作の意図、
映像として表現する上での工夫や編集における悩みや工
夫についてお話しします。

東京講演会

第101回 4月15日(日) 14時～15時
ビデオトークより
ペー族の映像民族誌——制作過程で考えること
講師 横山廣子(国立民族学博物館 准教授)
映像では、モノでは表現することのできない人びとの生
活の雰囲気を描き出し、祭りや儀礼などを一連の流れの
なかで伝えることができます。制作中のペー族のマルチ
メディア番組「雲南省のペー族の暮らしと文化」の映像
を用いて、彼らの生活を紹介します。番組制作の意図、
映像として表現する上での工夫や編集における悩みや工
夫についてお話しします。

国立民族学博物館友の会 電話06-6877-8893(平日9時～17時) FAX06-6878-3716
<http://www.senri-f.or.jp/> e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

幸せを呼ぶ「エケコ人形」

今回ご紹介するのは、ポリビア、ペルーなどアンデス
高地の先住民のあいだで大切にされているエケコ人形。
糸で編んだ帽子をかぶり、太った体のまわりに豆や
パスタの袋、焼き物の壺、人形や楽器、ドルやペソの
お札など、さまざまなもののミニチュアをぶら下げた、
口髭をはやした男性の人形です。
本来は裸の人形に自分たちが欲しいもの、食料品や身
の回り品、お札(現金)など日常不足して困るもの、
あるいは住宅や車など、近い将来手に入れたいもの
のミニチュアを飾りつけます。
ポリビア最大の都市ラパス市では、毎年一月二十四日に
開かれるアラシタの祭りに、自分たちが欲しいものを
身に付けたエケコ人形を持って大聖堂で祝福を受け
れば、その年のうちに願いがかなうと信じられています。



エケコ人形 (大) 1,890円(税込)
(小) 1,470円(税込)